

「読書指導」 ～子どもたちが生き生きする学校図書館とは

子どもたちを育て、主体的・対話的で深い学びへとつなぐ読書指導の基本的な考え方、教育課程の展開とは、様々な授業実践から学びます。

江別市立江別第二小学校 司書教諭 井上 陽子

1. 学校図書館で、どんな子どもたちを育てるのか。


学校図書館へGO!

- 人がいる 図書委員、(学校司書)
- 本がある 読みたい本、調べたい本
- つながる ネットワーク、ボランティア
- 憩いの場 安心感

どんな子に?

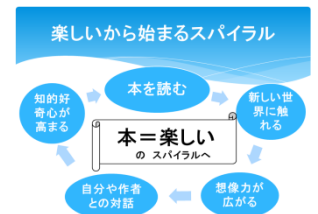
- 本が大好き!
- 楽しい・わかる!
- 想像する力
- 調べる力
- 書く力
- 伝え合う力

たしかな学力



2. 読書指導の基本的な考え方

- ★学校図書館法2条「**教育課程の展開に寄与する**」⇒学習センター・情報センター
- 「**児童又は生徒の健全な教養を育成する**」⇒読書センター



★新学習指導要領に見る学校図書館

○総則 3-1-(7)

「**学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす**とともに、児童の**主体的、自発的な学習活動や読書活動を充実させること**」

○国語科・読むこと

小学1・2年
学校図書館などを利用し、**図鑑や科学的なことについて書いた本**などを読み、**説明**する活動

小学3・4年
学校図書館などを利用し、**事典や図鑑**などから情報を得て、わかったことなどを**まとめて説明**する活動

小学5・6年
学校図書館などを利用し、**複数の本や新聞**などを活用して、調べたり考えたりしたことを**報告**する活動

※学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。本の種類や配置、探し方について指導するなど、児童が必要な本などを選ぶことができるように配慮すること。

中学1年
説明・記録、小説・随筆、多様な情報からの報告、まとめ、伝え合い

中学2年
報告・解説、詩歌・小説、本や新聞・インターネットなどから集めた情報からの説明、伝え合い、提案

中学3年
論説・報道を比較し討論、**詩歌・小説**の批評、伝え合い

3. 教育課程 (学校図書館年間活用計画に基づいて計画的に行う)

4. 深い学びへとつなぐ実践 (「ようこそ学校図書館へ」・ワークシート)

5. 現状の学校図書館・これからの学校図書館

どんな方法が?

- ・読み聞かせ ストーリーテリング ブックトーク
- ・アニメーション 読書感想画 読書感想文
- ・読書郵便 読書会 座談会
- ・ビブリオバトル スタンプラリー

＜対象＞
学校図書館
児童生徒
教職員
読書指導委員会
利用者

＜主体＞
児童生徒
教職員
読書指導委員会

＜形態＞
集会 展示
放送 掲示

「情報活用能力の育成」

～自ら考え、判断できる子どもを育てる～

「情報資源を活用する学びの指導体系表」をもとに、学びの指導の基本的な考え方と方法を具体的な実践例をもとに学びます。

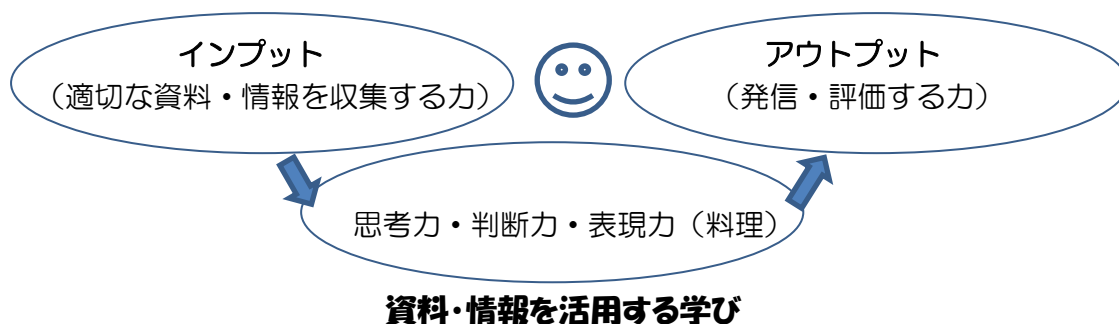
江別市立江別第二小学校 司書教諭 井上 陽子

1. 学校図書館の役割

- 学習センターとしての学校図書館 ★「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック解説編より
資料・情報の活用経験の積み重ねによって、
「読む力」は、「読んで理解できる→自分で考える→それを自分で表現する」という
「読める力」・「確かな学力」へと高められていく。

資料や情報を**根拠**として用いる学び。単なる思いつきや感想ではなく、知識の事実を思考の材料や根拠として用いて**深い学び**を作っていく。(料理の食材と同じ)

テーマを考えるために、関連する図書や雑誌記事、新聞、ウェブページなどを収集。
読む→分析→比較→統合→まとめ・発表。(料理の食材は新鮮で豊富・腕がいいとおいしい)
適切な情報や資料が十分にあり、読み取る力が高いほど、発信する質は高まる。

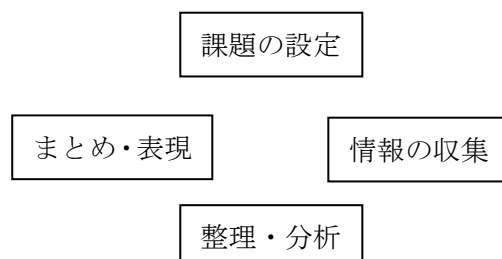


- ★学校図書館の利活用 ・学び方のスキルを知る ・学び方のプロセスを知る。
ステップアップ表でチェックしてみよう！

ステップ1 授業で利用できる資料がある 一部の教師が授業に図書館を活用している
ステップ2 授業に関連した資料が十分に入手できる 多くの授業で図書館が活用されている
ステップ3 全教科で図書館活用の授業が計画的に実施されている
 司書教諭や学校司書がTTとして授業に参加している

③情報センターとしての学校図書館

- ★情報活用能力とは、学び方を学ぶ力
(情報を使う力、情報リテラシー)
★探求的な学びは、プロセス重視
★カリキュラム・マネジメントの必要性



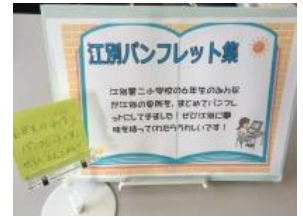
2. 情報資源を活用する学びの指導

学び…創造的な営み

情報資源…子どもが主体的に学ぶための学習材



- ① NDC（日本十進分類法）について
0から9までの10個の数字を使って本を分類（本の住所）
- ② 情報資源を活用する学びの指導体系表
- ③ 蓄積物について



3. 各学年の取り組み（第二小学校の実践）

- ・小1 「学校図書館利用学習」「のりものをしょうかいしよう」
- ・小2 「図書館へいこう 本をさがそう」「生きもののことをせつめいしよう」「本を作ろう」
- ・小3 「国語辞典の引き方」「図鑑の使い方」「生き物のとくちょうをくらべて書こう」
- ・小4 「漢字辞典の引き方」「百科事典の使い方」「学級新聞をつくろう」
「読書発表会をしよう」「調べてわかったことを発表しよう」
- ・小5 「情報ノートをつくろう」「新聞を読もう（比較）」「資料をくふうして効果的に発表しよう」
- ・小6 「著作権について」「年鑑の使い方」「いろいろな資料の使い方」

4. 体系的な学びをさせるために


- ・まずは、学校図書館の環境整備を。
～NDCに沿った配架、わかりやすいサイン、1クラス分の机といす
- ・特設時間での指導
～司書教諭の出番です。借り方指導だけではもったいない。
- ・教科指導の中での指導
～実はどの教科でも。必要感で定着度アップ。
- ・いつでも、どんな時でも
～教科、行事、どんな場面でも学校図書館を身近に。
- ・共通理解に基づく年間計画
～校内研修で理解→年間を見通し、みんなでづくり、実践・交流→まとめ・反省・評価→次の計画

気になる・調べたい 比べる・
深まる・伝え合い・振り返り・
さらなる深化へ
楽しんで、自ら学ぶ力を！
生涯にわたって

5. 実習しましょう

「新聞を活用した授業作り」「まわし読み新聞をつくろう」


新聞活用 スクラップ・新聞作り



- 新聞の見出しクイズ
- 見出し、リード、本文
- 記事の工夫

要約力
事実をみぬく力、比較
自文の思い

新聞ワークシート
読解力、要約力
学力向上に！



5年生
読売新聞出前
授業も可能

見出しの工夫・要約・意見



まわし読み新聞